

## 2. 教員の自己評価を通してみる学校関係者評価委員からの評価

【評価内容】 A:とてもそう思う B:どちらかと言えばそう思う C:どちらかと言えばそう思わない D:全くそう思わない			
評価者数が一番多い評価を学校関係者の評価とした			
評価項目	達成状況		評価者からの意見・ご助言等あればお書きください。
	2022年度	前年度	
1. 本校の中核目標の達成状況について	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県内において唯一、中学校と高等学校が一貫した教育を行っている。その強みを発揮するには、日々生徒指導上の問題に対するために中学校・高校の異なる教師同士が互いの認識の相違を理解しなければ効果的な連携はできない。今後この協働性を発揮した生徒指導体制の構築が必要であるといえよう。</li> <li>・豊かな心と高い知性を育む学園を掲げ向上をし続けてもらいたい。</li> <li>・「C」「D」評価を減らすためには、どのように取り組むことがベストなのか議論して欲しい。</li> <li>・生徒間での意識改革が必要だと感じる。</li> <li>・授業遅刻に関しては教員間の連携が大切かと思う。</li> <li>・朝の遅刻に関しては、登校時間の統一（毎朝8:10にするなど）をして、同じリズムで過ごせるようにするのも対策の一つだと思う。</li> </ul>
	(B)	(B)	
	C	C	
	D	D	
2. 教員の各種委員会(校務分掌)の目標や具体的内容の達成状況について	(A)	(A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用で教員の余白の時間を作る発想も大事だと思います。教員同士が各種学校行事の実態や課題をじっくり話し合ったり、とらえ直す機会や時間を確保することが必要と感じた。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルスの影響の為、思うように実施できていないなかで、出来る限りを尽くした感を感じるため今後に繋がる年であったと思う。</li> <li>・体育祭が非常に盛り上がり良かった。</li> </ul>
	B	B	
	C	C	
	D	D	
3. 教員の部(校務分掌)の目標や具体的内容の達成状況について	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からグラデュエーションポリシーとカリキュラムポリシーを推し進めることで、各教科の目指す達成目標及び教育内容・方法を明確にし、より高い学習効果が期待できそうです。</li> <li>・学年、中学、高校といったカテゴリーごとの明確な目標を持たせることで、個別的、柔軟性のある指導をして頂ければ、生徒のコミュニケーション方法や生活習慣のあり方のずれなども改善する方向に進むのではと思う。</li> </ul>
	(B)	(B)	
	C	C	
	D	D	
4. 各教科の目標や具体的内容の達成状況について	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際教育の充実」についてはコロナ渦による世界的な渡航制限により、これまで各教育機関が取り組んできた海外留学・研修などの取り組みは大きな影響を受けている。デジタル技術の更なる進展を見据えつつ、今後の国際交流の推進に当たっては対面とオンラインのベストミックスを検討する必要がある。</li> <li>・どの教科に対しても知識、技能の強化指導と思考力、表現力の研究実践を感じる。今後、結果がついてくることを願う。</li> </ul>
	(B)	(B)	
	C	C	
	D	D	
5. 各学年の具体的内容の達成状況について	(A)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路検討者に対する指導などは非常に評価できる。卒業生の活躍は在学生にとって夢と希望につながるので、卒業生の先輩講話を設けてはいかがでしょうか。</li> <li>・達成状況評価を上げていく為には、先生、生徒間だけでなく、家庭内での意識の持ち方や自己に責任を持ち、精神的な成長を促すことも必要と考える。</li> </ul>
	B	(B)	
	C	C	
	D	D	